

★ 化学合成からスケールアップ、精製、関連するガイドラインまで**包括的**に解説！

セミナー№602106

★ 高コスト・高廃棄物という課題に挑戦する**触媒技術**！



# ペプチド医薬品製造の スケールアップと低コスト化を目指した合成法

●日 時:2026年2月25日(水) 13:00～16:15 ●聴講料:1名につき 49,500円(消費税込、資料付)  
●会 場:Zoomを使用したLive配信セミナーです。 [1社2名以上同時申込の場合のみ1名につき44,000円(税込)]  
勤務先やご自宅のパソコンでご視聴ください。 [大学、公的機関、医療機関の方には割引制度(アカデミック価格)があります。]

## 1. ペプチド原薬製造の スケールアップ時の留意点

## 2. 逆伸長型ペプチド合成法 ～低コスト・低廃棄物・大量合成への挑戦～

シンクレスト(株) 研究開発部 部長  
久保 大輔 氏  
【13:00-15:00】

産業技術総合研究所 触媒化学研究部門  
研究グループ長 生長 幸之助 氏  
【15:15-16:15】

【講座主旨】  
低分子医薬品とは異なるペプチド原薬の製造に焦点を  
当て化学合成からスケールアップ、精製、関連するガイ  
ドラインまでを包括的に解説します。  
ペプチド原薬開発における実践的な知識について提供し  
ます。

【講座主旨】  
ペプチド医薬品の大量供給には効率的な合成法が不可  
欠です。従来のC末端→N末端伸長法は高コスト・高廃棄  
物という課題を抱えています。本講座では、逆方向のN末  
端→C末端伸長型ペプチド合成法の開発と、その低環境負  
荷・高効率性を実現する触媒技術について、弊所環境の  
紹介も含めて解説します。

1. ペプチドとは  
1-1 ペプチドとは何か  
1-2 ペプチド医薬品の現状
2. ペプチド合成方法  
2-1 液相合成  
2-2 固相合成  
2-3 疎水性タグを用いた合成
3. ペプチド分析方法  
3-1 分離モードとカラム選定  
3-2 LC-MSによる不純物解析  
3-3 工程分析手法
4. ペプチド精製方法  
4-1 ペプチド精製工程の流れと特徴  
4-2 分析条件から分取精製へのスケールアップ
5. ペプチド原薬製造のスケールアップ時の留意点  
5-1 ペプチド原薬の品質確保のための考え方  
5-2 原料アミノ酸の品質管理  
5-3 製造プロセス検討で考慮すべき項目  
5-4 ペプチド合成における不純物
6. ペプチド医薬品の  
ガイドラインにおける位置づけ

1. 産総研の概要
2. 逆伸長型ペプチド合成法
3. 生物分野との連携を目指した取り組み

## セミナー申込書

「ペプチド医薬品」セミナー

No.602106

2/25

・申込書に必要事項をご記入の上、FAX(03-5436-7745)にてお申込みください。

・ホームページからも申込できます。https://www.gijutu.co.jp/

会社名	事業所・事業部		
住所	〒		
TEL	携帯電話		
	所属部課	氏名(フリガナ)	E-mail
受講者1			
受講者2			
今後ご希望しない案内方法に×印をしてください(現在案内が届いている方も再度ご指示ください) 〔 郵送(宅配便)・ショートメッセージ(携帯電話)・e-mail 〕			
個人情報の利用目的 ・セミナーの受付、事務処理、アフターサービスのため ・今後の新商品、新サービスに関するご案内のため			



申込専用FAX 03-5436-7745

### ●申込方法

1. 申込書が届き次第、請求書・聴講券・会場案内図をお送りいたします。
2. お申し込み後はキャンセルできません。  
受講料は返金いたしませんので、ご都合の悪い場合は代理の方がご出席ください。

3. 申込み人数が開催人数に満たない場合等、状況により中止させて頂く場合がございます。
4. 定員になり次第、申込みは締切となります